英　　語

1　学習指導及び学習評価の改善・充実

(1)　英語科における個別最適な学び、協働的な学びとは

英語科における個別最適な学び、協働的な学びに係る考え方については、教科「外国語」を参照。

(2)　英語科における共通性の確保を目指した学びとは

英語科における共通性の確保を目指した学びに係る考え方については、教科「外国語」を参照。

(3)　個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための学習評価

英語科における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための学習評価に係る考え方については、教科「外国語」を参照。

2　指導と評価の計画例

(1) 総合英語Ⅱの計画例

ア　単元の目標

日常的な話題「幸せとは」について、状況などに応じて、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うことができる。

イ　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
相手の考えに対して、言い換えたり、異なる立場から自分の考えを述べたりするために必要な表現を身に付けている。	相手の考えに対する適切な応答を、やりとりが円滑になるよう配慮しながら話して伝えることができる。	相手の考えに対する適切な応答を、やりとりが円滑になるよう配慮しながら話して伝えようとしている。

ウ　単元の指導と評価の計画（７時間）

時間	ねらい(■)、各時間における学習活動等(丸数字) (学習活動の概要、主発問、指導上の留意点)	評価の観点		
		知	思	態
1 【学習の個性化】生徒が自ら選択し、自分の考えをまとめて発表	■身近なテーマを用いた言語活動を通して、生徒に単元の目標と評価方法を理解させ、学習の見通しをもたせる。 ①「理想の休日の過ごし方」というテーマで、教師が選択肢をいくつか提示する。生徒はペアでやり取りを行いながら、最もよいと思う過ごし方を決める。 ・生徒Ａ：自分が最もよいと思う選択肢を１つ選び、選んだ理由を加えて生徒Ｂに伝える。 ・生徒Ｂ：生徒Ａの考えを聞いて、相手の考えを要約した上で、自分が考える最もよいと思う選択肢とその理由を生徒Ａに伝える。 ７時間目にパフォーマンステストを実施し、単元の目標の達成状況を評価する。	○		

【共通性の確保】
単元末（７時間目）にパフォーマンステストを実施することを生徒に伝え、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

【協働的な学び】
ICT機器を活用した教材や学習活動等の工夫

【指導の個別化】
一人一台端末による録画、録音活用のほか、音声の文字起こし機能による振り返りシートへの記入などの方法も考えられる。

・教師は、生徒Ａと生徒Ｂがペアで１つの選択肢を選ぶまでやり取りを継続するように促す。
②後日行うパフォーマンステストの評価基準を生徒に示し、教師とALTが①のペアワークを行い、生徒にモデルを提示する。
③生徒は、①及び②を踏まえて、数回ペアを変えてやり取りする。
・生徒は、一人一台端末を用いて、③の最後のペアとのやり取りを録画し、パフォーマンステストに向けた振り返りができるようにする。
④生徒は、③終了後、ペアで動画を見るなどして振り返りを行い、パフォーマンステストで評価する条件等を意識して得た気付きや学習の見通しをワークシートに記入して整理する。
・ワークシートはパフォーマンステスト後に提出する。

【指導に生かす評価】
自己調整による生徒の変容に着目

【指導に生かす評価】
自己調整による生徒の変容に着目

2	■相手の考えに対して、言い換えたり、異なる立場から自分の考えを述べたりするために必要な表現を身に付ける。 ①「同じ仕事を続けるか、転職するかどちらがよいか」というテーマで、生徒はペアでやり取りを行いながら、どちらがよいかを決める。 ②教師は、相手の意見の要点や概要を口頭でまとめるための表現や、相手の意見に対する賛成や反対、質問するための表現等をワークシートにまとめ、オンラインホワイトボード等で掲示し、表現に関する知識の理解において配慮が必要な生徒への支援を行う。 ※以降、生徒は１時間目の③以降と同様の活動を行う。
3～4	■聞いたり読んだりして得た「お金の使い方」に関する情報を整理し、４つの選択肢から、「『最も幸せなお金の使い方』はどれか」をペアで話して伝え合う。 ①教師は、「お金の使い方」について書かれた４種類の英文を用意する。 ②生徒は、４人１組のグループを作り、それぞれの生徒が別の種類の英文を読んで、読んだ内容を他の生徒に話して伝え合ったり、質疑応答をしたりする。（ジグソー法） ③生徒は、一人一台端末を用いて、読んだり聞いたりした英文の要点や、質疑応答の内容をオンラインホワイトボード等を用いて整理する。 ④教師は、各グループのやり取りや、共有されたオンラインホワイトボードの内容を見ながら、４つの「お金の使い方」について、適切に理解できているかを確認する。 ⑤生徒はペアになり、「４つの中で、最も幸せなお金の使い方はどれか」についてやり取りを行う。 ⑥教師は、ペアでのやり取り等を見ながら、本単元で学ん

【指導に生かす評価】
教師は、全生徒の単元末のパフォーマンステストの各観点の評価がB以上になるよう、適宜必要な指導を行う。

【指導の個別化】
特別な配慮が必要な生徒への対応を含む多様性への対応の手立て

【協働的な学び】
ICT機器を活用した教材や学習活動等の工夫

【指導の個別化】
教科書本文をパート毎に分けて生徒に読ませることや、生徒の興味・関心や学力等に応じて、扱う内容を精選したり、難易度や長さを調整したりした英文を作成して使用する。その際、教師はALTや翻訳ソフトを活用して英文を作成することも考えられる。

○ ○

【記録に残す評価】
教科書本文の理解や、語彙や文法等の知識と技能を評価する。

【記録に残す評価】
情報の整理・分析の状況、４種類の英文の要点や、質疑応答の内容の整理・分析の状況を評価する。

【指導に生かす評価】
教師は、全生徒の単元末のパフォーマンステストの各観点の評価がB以上になるよう、適宜必要な指導を行う。

	だ知識・技能を、やり取りの中で効果的に活用できているか確認する。また、「思考・判断・表現」については、ホワイトボードの記入等を確認する（以下同様）。 ※以降、生徒は１時間目の③以降と同様の流れで行う。			
５～６	■聞いたり読んだりして得た「友人関係」に関する情報を整理し、「理想の友人関係」について話して伝え合う。 ①教師は、「友人関係」について書かれた４種類の英文を用意する。 ※②～③は、３～４時間目と同様の活動を行う。 ④教師は、各グループのやり取りや、共有されたのオンラインホワイトボードの内容を見ながら、４つの「友人関係」について、適切に理解できているかを確認する。 ⑤生徒は、「４つの友人関係の中で、最も理想的な友人関係はどれか」について、ペアでやり取りを行う。 ⑥教師は、各ペアのやり取り等を見ながら、本単元で学んだ知識・技能を、やり取りの中で効果的に活用できているかを確認し、必要に応じて指導を行う。 ※以降は、１時間目の③以降と同様。	○	○	
7	①パフォーマンステスト「話すこと[やり取り]」 ②単元の振り返りとして、単元全体を通して得られた学びや気付き、自己の変容をワークシートに記入し、パフォーマンステスト後に提出する。	○	○	○

【指導の個別化】
教科書本文をパート毎に分けて生徒に読ませることや、生徒の興味・関心や学力等に応じて、扱う内容を精選したり、難易度や長さを調整したりした英文を作成して使用する。

工　学習指導案

【指導に生かす評価】
教師は、全生徒の単元末のパフォーマンステストの各観点の評価がB以上になるよう適宜必要な指導を行う。また、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮する。

【記録に残す評価】
生徒の変容を理解しやすくするために、これまでの生徒の記載を並べて見ることができるようワークシートを工夫。

エ　学習指導案（６時間目／７時間中）

１　本時の目標

聞いたり読んだりして得た「友人関係」に関する情報を整理し、「理想の友人関係」について、多様な語句や文を、状況などに応じて適切に用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うことができる。

２　本時の展開

課程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	・前時までの復習 ・本時の目標と課題の提示 指導の個別化（手立て） 生徒が学習方法を選択できるように配慮している。 ・教師とALTのペアワークによるモデルの提示	・前時に読んだ「友人関係」に関する４つの情報について、オンラインホワイトボード上で用意されたイラストと組み合わせるなどして内容を整理し、的確に理解する。 ・後日行うパフォーマンステストの評価基準と、本時に行う「話すこと［やり取り］」の言語活動の	・言語活動を行う際に必要となる情報を一人一台端末に掲載するなどして、各生徒が必要に応じて活用できるようにしておく。 ・教師とALTがペアワークを行い、パフォーマンステストで各観点の評価が「ｂ」となるモデルを提示する。

		モデルを確認する。	
展開 個別最適な学び 必要に応じて周囲の生徒と相談したり、黒板を使用して何人かで話し合ったりすることも考えられる。	・個人思考	・ペアでのやり取りに向けて、「友人関係」について書かれた４つの文の中から１つ選び、選んだ理由を話して伝えることができるよう準備する。 ・オンラインホワイトボード上に自分の考えを記載する。 ・オンラインホワイトボードはクラス全員で共有。生徒は、必要に応じて、他の生徒の考えを参考に自分の考えを整理する。	・やり取りの際に参考にすることができるワークシート（やり取りのモデル）、パフォーマンステストの評価基準等は生徒がいつでも閲覧できるようにGoogleクラスルームに掲載しておく。 ・自分の考え全てをオンラインホワイトボードに書き留めるのではなく、キーワードをメモする程度にさせる。
展開 協働的な学び ICT機器を活用した教材や学習活動等の工夫	・ペアワーク 「話すこと［やり取り］」	・ペアになり、最も理想的な友人関係について、やり取りする。 ・数回ペアを変えてやり取りする。 ・ペアワークの間にペアや個人での振り返りを行う。 ・ペアごとに、やり取りを一人一台端末を用いて録画し、パフォーマンステストに向けた振り返りができるようにする。	・ペアのやり取り等を見ながら、本単元で学んだ知識・技能を、やり取りの中で効果的に活用できているかを確認し、「指導に生かす評価」として、ペアワークの間に、全体にフィードバックを行う。
まとめ 指導の個別化（手立て） 特別な配慮が必要な生徒への対応を含む多様性への対応の手立て	・本時の振り返り	・次時のパフォーマンステストに向けて、ペアで動画を見るなどして振り返りを行い、パフォーマンステストに向けて改善すべき点等についてワークシートに記入する。	・生徒が変容や気付きを整理したワークシートは、パフォーマンステスト後に提出させて評価資料として活用する。 ・全体に対するフィードバックのほか、振り返りシートを確認、個別の声掛けなど、必要に応じて個別の指導を行う。また、学習の定着が遅れている生徒に対して、他の生徒の動画を見せるなどの手立てを行う。

オ　学習の進め方や学習評価の工夫

(ｱ) パフォーマンステストにつなげる指導と評価の一体化

本単元の１時間目において、単元終末に行うパフォーマンステストの評価基準を示した上で、身近なテーマを用いてパフォーマンステストと同じ形式で言語活動（話すこと[やり取り]）を行うことにより、生徒が本単元の目標を理解し、学習の見通しをもつことができるようにしている。

また、生徒は一人一台端末を用いてパフォーマンステストにつながる言語活動の様子を録画し､初めに撮影した動画と途中経過の動画等を比較する活動を行う。活動を振り返り、ワークシート（振り返りシート）に記録することで、パフォーマンステストに向けた学習方法等を改善することができるとともに、教師は、総括の際の評価資料とするためだけでなく、個に応じたフィードバックを行うことにより、指導の個別化を図るなど、指導改善につなげることができる。

(ｲ) 共通性の確保

パフォーマンステストに向けた単元の各言語活動を通じて、生徒が他の生徒と協働しながら、問いに対する自分なりの考えを導き出すことができるよう、ワークシートを活用しながら自身の考え方を模索・整理し、自己決定・自己調整する機会を設定する。

(ｳ) 「学びに向かう力、人間性等」の育成に向けた方策

言語活動の記録について、生徒自身がワークシート（振り返りシート）を活用しながら学習状況を振り返ることによって、自身の変容を認識し、パフォーマンステストに向けて主体的に学習に取り組む態度が育成されることが考えられる。

＜振り返りを記入するワークシートの記載例＞

【Discussion Improvement Sheet】

No.____ Name_____

You will reflect your performance every after recording your discussion. Plus, you should note things leading to A score whenever you notice and learn some helpful points in discussion.

After the first recording

I could not tell my opinion clearly. It was difficult to keep talking with my partner. I must do reactions after I listen to my partner.

After the second recording

I could repeat my partner' s opinion. Thanks to this, we could keep our discussion better. It was difficult to tell my views about all options, so I should brainstorm more and want to make longer sentences. If my partner has troubles, I will try to ask questions.

After the Performance Test

Notes (Tips for better discussion)――――――――――――――――――――――――――――――

例：○月△日　話す時は大きな声で

○月△日　相手の話を聞いた後、自分の話の前にワンクッションが必要

カ　パフォーマンステスト

(ｱ) 指示内容

You are discussing happiness in life with a friend. You can narrow down thoughts into four things;having many friends, building a career, earning a lot of money, and staying healthy. Talk together about their differences, and say which would be the most appealing aspect.

(ｲ) 実施の方法

生徒のペアについては、教員が無作為に決定する。また、パフォーマンステストの様子は、教員の指示で一斉に録画し、データで提出する。

(ｳ) 採点の基準

条件１　相手の考えを自分の言葉で言い換えている。

条件２　相手の考えに対して、異なる立場から、自分の考えを伝えている。

条件３　指示文にある幸せのための選択肢を比較しながら、考えをまとめている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現を適切に使用している。	３つの条件を満たした上で、やりとりが円滑になるよう配慮しながら話して伝えている。	３つの条件を満たした上で、やりとりが円滑になるよう配慮しながら話して伝えようとしている。
b	理解に困らない語彙や表現を使用している。	３つの条件を満たして、話して伝えている。	３つの条件を満たして、話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(ｴ) 評価の例①

例①として、２時間目に実施する「同じ仕事を続けるか、転職するか」の評価例について記載する。この評価例は、記録に残す評価としては扱わず、パフォーマンステストに向けた指導に生かす評価の一環とするため、評価の結果を生徒に提示する。

○トピック：「同じ仕事を続けるか、転職するか」(生徒Aを「A」、生徒Bを「B」と表記)

A：　So, we're talking about the differences between working at the same company and changing jobs. What do you think?
B：　<u>I don't want to change my job. Eh, this is because it's difficult to learn new things.</u>
A：　That's true. But <u>I think if the environment of a current job is bad, we should change jobs.</u>
B：　Um..., I think so, too. It's difficult to work there.
A：　Yes. <u>If you keep working for same company, what is good?</u>
B：　Ah, easy to work? Relax. How about you?
A：　I agree. No change of the working environment will make us feeling

relaxed. And I think staying in the same place, you can make more money than changing jobs.

B： That's true. So, which do you think better is? Changing jobs?

A： If you keep working after changing your job, you will get more money later. So, changing jobs is better.

【採点の結果】

＜生徒Ａ＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	b	b
誤りが一部あるが、理解に困らない語彙や表現を使用している。	３つの条件を満たして、話して伝えている。	３つの条件を満たして、話して伝えようとしている。

＜生徒Ｂ＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	c	c
誤りが一部あるが、理解に困らない語彙や表現を使用している。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※生徒Ｂへの手立てとして、他の生徒のパフォーマンステストの動画を見せ、生徒が自らの学習状況を把握し、学習の進め方などを振り返る機会を設定することなどが考えられる。

(ｵ) 評価の例②

例②として、単元の７時間目に実施するパフォーマンステスト「『幸せな人生を送るために必要なこと』に関するやり取り」の評価例を記載する。

○トピック：「幸せな人生を送るために必要なこと」

A： So, we're discussing what makes us happier in life. I think having many friends is very important. Friends can support us and make life enjoyable.

B： That's true.

A： What is a good point of staying friends?

B： Um, staying with friends is helpful because they help my study.

A： Good point. Then how about health? For me, health is definitely important. Without good health, it's hard and sometimes impossible to anything.

B： I agree. If you're fine, you can enjoy things with friends. What do you think about building a career?

A： A successful career is very rewarding. It can also guarantee financ stability, which is linked to earning a lot of money. Then, how about being rich? With money, you can buy a comfortable life and security.

思考・判断・表現の項目において、関連した情報や、自分の考えについてより明確に伝えているとともに、相手の主張も取り入れながら発言している。

B： Yes, I think you are right. So, what is our final opinion? Health?

A： That's right. I think staying healthy could be the most appealing because if we're healthy, we can work hard and make money, and enjoy time with friends.

B： I couldn't agree more. So, we think health is the key to happiness life.

【採点の結果】

＜生徒Ａ＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	a	a
語彙や表現を適切に使用している。	３つの条件を満たした上で、やりとりが円滑になるよう配慮しながら話して伝えている。	３つの条件を満たした上で、やりとりが円滑になるよう配慮しながら話して伝えようとしている。

＜生徒Ｂ＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	b	b
誤りが一部あるが、理解に困らない語彙や表現を使用している。	３つの条件を満たして話して伝えている。	３つの条件を満たして、話して伝えようとしている。